



## 第40回日本重症心身障害学会に参加して

小児科部長 福水 道郎



京都テルサで開催された第40回日本重症心身障害学会総会に参加しました。学会は年々盛りだくさんとなり、参加者も増えているようで、テルサホール（最大856席）1か所で行うランチョンセミナーのときはほぼ一杯になりますので1000名くらいは参加されているのかなと思いました。さて当院では口演が2題、ポスターが4題、計6題の発表をしています。田沼先生が「銅欠乏症」、富永先生が「骨そしょう症」、薬剤科の倉本さんが「シクロスポリンAの使用経験」、訓練科の

杉浦さんと看護科の佐々木さんがそれぞれ協働で「呼吸機能改善の試み」について精力的に発表されていました。座長の方々や学会主催者の方々も優しく親切で毎日奮闘され、演題発表を支えてくださっていました。

さてプログラムですが、ランチョンセミナーでは当院でも積極的に行っている低カルニチン血症のリスク管理、呼吸リハビリテーションにおけるカプアシストやIPVの有用性のお話がありました。シンポジウムでは、まだまだ今後議論を深めていかなければならない利用者の最善の利益を考えた治療方針決定、医療同意の問題等についてそれぞれの立場からのお話等、教育講演では神経再生を目指してiPS細胞を使用した疾患研究等がありました。その他一般演題では当院の利用者にそのまま応用できる内容が豊富に発表されていました。発表についてのエビデンスや客観性の確保等については取り組むべき課題を認めるものもありますが、着実に重症心身障害医療の進歩や未来を考える充実した内容で、嬉しく思いました。

私は「経胃ろう空腸チューブの使用経験」について発表しました。熊本の小児外科の先生からは貴重な質問とコメントもいただきました。発表後名刺交換をすることができ、今後外科的なことを相談する所をひとつ増やせたのではないかと思います。療育センターは他科（専門診療）との連携を充実させることが、利用者様の安楽な生活につながるところもあり、機会をみつけてそのような役割も担っていきたいと考えています。夜は東部療育センターの懇親会に参加して旧交を温めたり、情報交換をすることができ、充実した時間を過ごせました。最後に留守を守ってくださった職員の皆様に感謝いたします。





## 第6回府中療育センター祭



指導科 首藤 悠

10月15日(水)～22日(水)、第6回府中療育センター祭が行われました。イベント日の17日(金)、18日(土)の様子についてお伝えします。

院長先生のご挨拶(メタセコいやんと共に)



院長先生の挨拶、そして今年も登場！ハッピーバズーカを合図に、センター祭が始まりました！今年もセンターの皆さんの個性豊かな舞台発表が盛りだくさんでした。ディズニーやAKB、アロハの曲に合わせて歌ったり踊ったり♪今大人気の「だめよ～だめだめ」ショーで大笑い♪成人、還暦、米寿の利用者さんは温かい拍手で皆にお祝いされて、恥ずかしいような誇らしいような笑顔♪職員作詞作曲による手洗いの歌を聞き、思わず口ずさんだり？！利用者さんによるのど自慢大会が開催されたり♪終始大盛り上がりの舞台発表でした。

今年の食べ物コーナーのテーマは「中華屋さん」。目玉メニューは「ラーメン」と「餃子ムース」！美味しそうに頬張り笑みがこぼれる利用者さん。美味しくておかわりしていた人もいらっしゃいましたね。家族会のわたあめは、利用者さんをはじめ、大人も子どもたちも嬉しそうに食べていました。

地域の作業所等の出店コーナーでは、ジャムやパン、豆腐プリン、雑貨などバラエティに富んだ商品が並んでいました。販売開始と同時に長い列ができてすぐに完売したり、お店の人と会話が弾んだり、今年も大好評でした。

食べ物コーナーに行列が！



タクティールケア



体験・ゲームコーナーの「手作り教室」では、世界で一つだけの宝物作り。ペットボトルで作る自分だけのアクセサリ作成に、真剣な表情で取り組む利用者さんが印象的でした。「音当てゲーム」では、普段何気なく聞いている「音」を聞いて、何の音か当てられましたか？

イベント気分を盛り上げる「ネイル&タトゥ」は、今年タトゥが大人気！！ミッキーやトトロ、アナやオラフ、キティちゃんにリラックマ…etc. 頬や手の甲、腕にタトゥをつけてオシャレを楽しんでいました。

氷のお城が登場！



あじさい館の手前の部屋では、「タクティールケア体験教室」が行われました。アロマの香りに癒されながら、ホッとしたひと時。中には気持ちよくて眠くなってしまう人も！

そして、奥の部屋に入ると、そこは「アナと雪の女王」をイメージした癒しの空間が広がっていました。雪だるまにスノードーム、氷柱花、そして、目玉の「氷のお城」！「ありの～♪ままで～♪」と何度も聞いたことのある？曲を聴きながら、雪の女王の気分になる人もいたのではないのでしょうか。

あじさい館の一角では、金曜日限定の占いの館「アタールミエール」が今年も登場！黒いパールを身にまとう館長の占いはズバリ当たると今年も大好評でした！！

舞台が盛り上がっています！



みんな、手を洗いましょうね♪





「JULIE'S CLUB」の皆さんの素敵なパフォーマンス！



「都庁スイングビーツ」の皆さんの迫力ある演奏！

2日目の舞台は、1日目に負けない盛り上がり！長年センターに来てくださっているボランティアさんや見事展示で「院長賞」を獲得した病棟の表彰式を行いました。そして、午前の部の最後を飾ったのは、「都庁スイングビーツ」の皆さんによる素敵なジャズの演奏のオンパレード！自然と身体が動いたり、歌ったり、その演奏に酔いしれる人もいましたね。午後の「JULIE'S CLUB」の皆さんによる歌とダンスのパフォーマンスは圧巻の一言！！会場全体が一つになる、素晴らしいパフォーマンスでした。トリを飾ったのは、都立武蔵台学園合唱部の皆さん。力強い歌声で、見ている人はたくさんのエネルギーをもらったことと思います。

最後は事務長の挨拶の後、ハッピーバズーカの合図で皆一斉に風船を飛ばし、センター祭は無事に幕を閉じました。

2日間とも晴天に恵まれた、素晴らしいセンター祭となりましたね。ボランティアの皆さんをはじめ、協力してくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

色とりどりの風船



## 骨折予防研修

訓練科 理学療法士 柴田 広徳



10月10日（金）大会議室にて、骨折予防研修が行われました。残念なことです、センターでは種々の対策を講じているにもかかわらず骨折事例が後を絶たないということで、急遽開催された研修会です。

夕方比較的遅い時間にもかかわらず多数の参加者の方が集まり、このテーマに関する関心の高さが伺われました。

研修の内容は、富永医師の『都立府中療育センターの長期入所者を対象にした骨粗鬆症スクリーニング』、他です。

富永医師の研究により、センターの多くの利用者の方の骨密度を調べることができ、「センターの利用者の方は90%を超える方が骨粗鬆症であり、骨折を起こしやすいハイリスクの方々である」という、驚きの事実が発表されました。

また、先生の研究からは、「運動機能を維持することが骨粗鬆症の予防には重要である」という考察もあり、リハビリや活動を頑張っている利用者の励みになると思われました。

利用者に関わるスタッフの一人としては、これからも骨折をおこさないように、いっそう気を引き締めてなければいけないという気持ちになった研修会でした。



## 日本重症心身障害福祉協会永年勤続者表彰 及び東京都永年勤続感謝伝達式

10月20日（月）日本重症心身障害福祉協会永年勤続者表彰及び東京都永年勤続感謝伝達式が行われ、前者16名、後者9名、計25名が表彰されました。

日本重症心身障害福祉協会に加盟している施設で、また東京都の職員として長年勤務してきた職員の方々に感謝すると共に、今後のますますのご活躍を期待します。

## 全国重症心身障害児者施設職員研修会 栄養士・調理師コースに参加して

栄養科 中里 吉雄

10月16日(水)～18日(金)の3日間、大阪の山西福祉記念会館で開催された全国重症心身障害児者施設職員研修会に、栄養科の新井淑雄調理師と参加させていただきました。

16日(水)には、「重症児者のための食事づくり ～目の前の方に合わせた食事の提供～」というテーマで、つばき静岡の浅野一枝医療部長の講演がありました。つばき静岡で実際に行っている、重症児者に合わせた食事提供上の工夫などがとても参考になりました。

その後、調理実習を行い、市販のとりみ調整剤(数種類)の違いによる物性の検証と、それらにおいて、味、ねばりの違いなどについて意見交換を行いました。他施設の調理師等と活発な意見交換を行い、有意義な時間をすごすことができました。

17日は、各参加施設の業務の取り組みに関する発表を聞き、18日は、施設規模別のグループ討議を行いました。「食事される方々を理解する方法」や、「調理師や栄養士が笑顔で食事づくりを行う工夫」などについて話し合いました。「利用者さんも職員も笑顔になった報告」として、便秘に悩まされていた利用者へ“ひじきサラダ”を提供したところ、大量の便が出て便通が整ったので、毎週、“ひじきサラダ”を出してほしいという要望があったという報告などが紹介されました。その他、各参加施設の自慢料理に関する情報提供が行われました。

今回、研修に参加させていただき、他施設における取り組みを聞いたり、他施設職員と意見交換を行ったりしたことなどが、本当に参考になりました。

これらの経験を、これからの業務に活かして、利用者の皆様に喜ばれる食事を作っていきたいと思っています。

## 平成26年度訪問健康教室「肩こり・腰痛の予防と体操」

事務室 栗原 拓

10月9日(木) あじさい館多目的室にて平成26年度訪問健康教室「肩こり・腰痛の予防と体操」が開催されました。講師は東京都職員共済組合のマッサージ師山口和馬先生です。

講義では、前半は肩こり・腰痛の原因や対処法などの基礎知識を学びました。対処法では、移乗の際、移乗を行う職員の腰に負担がかからない体の使い方などについても説明がありました。

後半は、肩こり・腰痛体操の実技でした。筋肉の緊張をほぐし、体を柔らかくする体操や、腰痛予防のための簡単な筋力トレーニングなど様々な体操を教えてくださいました。

今回、講義で教えていただいたことを参考に、職員が肩こり・腰痛を少しでも改善し、利用者さんにより良い環境を提供できればと思います。



## くぬぎ分教室社会見学

くぬぎ分教室 伊東 宏一

10月7日(火)午後、くぬぎ分教室社会見学が行われ立川・グランデュオへ行きました。西国分寺駅から立川駅までの移動はJRを利用しました。チケットの購入、改札、場内アナウンス、乗車、車窓・・・見聞きするものの全てが初めての体験で、場面が変わる度に表情を変化させて驚きや関心を表現していました。ウィンドーショッピングやスイーツタイムなど楽しいひと時を送ることもできました。センターのスタッフ、保護者の方々の付き添いやご協力があったて実施することができました。ありがとうございます。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>